

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2023年7月30日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌142「栄の主イエスの」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌505「妙なる恵みや」	一 同
教会学校	絵本「アブラハム物語」②	牧 師
讃 美	讃美歌532「ひとたびは死にし身も」	一 同
聖書朗読	ホセア11:1-7	
奨 励	ホセア書の福音(第5回)	牧 師
主 題	「主に立ち帰ろう」	
讃 美	讃美歌355「主を仰ぎ見れば」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝 5:33-42	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

7/30(日)聖日礼拝
/31(月)
8/1(火)
/2(水)
/3(木)10:00聖研
/4(金)
/5(土)13-16子供オプンハウス



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

静思の時の為に

ヘブル書 Devotion 第9回

「ただ一度だけで完全」

(ヘブル9:23-28)

皆さんは遺言書を見たり、書いたりしたことがありますか？旧新約聖書の「約」は“契約”を表しますが、実は本来“遺言”を意味する言葉であって、ヘブル9:16に「**遺言には、遺言者の死亡証明が必要です**」と訳されている通りです。父なる神が罪人の私たちを「わたしはあなたの神、あなたはわたしの民」と言って、私たちを神の家族として下さるためには、主イエスの十字架の死による贖いが必要だったことをこの言葉は簡潔に表しているのです。

では「贖い」とはどういうことなのでしょう？17節以下で語られており、それは端的に言って**罪の赦し**です。22節に「**血を流すことがなければ、罪の赦しはありません**」と記されている通りです。地上の大祭司は律法により毎年秋の「贖いの日」に動物犠牲を捧げて行うのですが、天の聖所に仕える大祭司イエスは、ご自身の命という動物犠牲に遙かにまさる献げものをもって、一度限りで完全な贖いの御業を成し遂げて下さいました。

ところで、遺言による相続者の資格には一つの重要な決まりがあります。それは、遺言者を殺したり騙したりしてはいけないということです。地上の人間社会の法律ではそのような人は相続資格者とされます。神の国でも同じ事が言えるのではないかということが、初代教会を構成する多くのユダヤ人たちにとっての大問題でした。なぜなら、主イエスを十字架に追いやったのはユダヤ人たちだったからです。

皆さんは「私がこれまで犯してきた罪は数多く生易しいものではないから、イエス様でも赦していただけないのではないか？」と自分の罪深さに落胆することがありますか？イエス・キリストを十字架に追いやって殺したヘブル人でさえ、十字架と復活の主イエスの取りなしによって救われたのです。イエス様にとって、救えない人はありません。

この疑問に対して、今日の聖書箇所は明確に答えています。人間の大祭司の献げる動物犠牲は毎年捧げなければならない不完全なものであるのに対して、真の大祭司イエス・キリストの献げた犠牲はご自身の命という完全なものであって、復活はこのことの比類無き証明であったこと。また、ご自身を信じる者を迎えに来ることが再臨の目的であることを示して次のように記しています。

「**しかし今、キリストはただ一度だけ、世々の終わりに、ご自分をいけにえとして罪を取り除くために現れて下さいました。そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人の罪を負うために一度ご自分を献げ、二度目には、罪を負うためではなく、ご自分を待ち望んでいる人々の救いのために現れて下さいます。**」(9:26-28)

このように、キリストによる救いはただ一度だけの完全な贖いの御業であって、ユダヤ人だけでなく、人生という旅をする私たちすべての者への福音なのです。